



デジタルハリウッド株式会社

モリサワの書体は、 受講生が社会に出ても 使用頻度が高い。

授業がない時間帯でも開放され、多くの受講生たちが課題制作に取り込んだり、グループ制作のディスカッションに励んだりしているデジタルハリウッド Mac 教室。グラフィックデザインの授業で使用される Mac には MORISAWA PASSPORT が導入され、授業や課題制作の中で活用されている。その導入の背景について伺った。

管理担当者からも好評な MORISAWA PASSPORT

「マルチメディア社会に向けて、世界に通用するトップ・クリエイターを育成する」という理念のもと、専門学校、大学、大学院、通信教育、法人研修といった各種教育サービスを展開し、「デジハリ」の愛称で広く知られているデジタルハリウッド株式会社。専門学校としての「デジタルハリウッド」には「グラフィックデザイン専攻」という1年間のコースが設置されており、エディトリアルやグラフィック、さらにWebサイトに至るまで、さまざまなデザインを取り入れたカリキュラムが組まれている。講師はもちろん現役のデザイナーたちであり、ここで高校や大学を出たばかりの若者から社会人経験のある人まで、さまざまな人たちがデザインを学んでいる。

デジタルハリウッド株式会社の企画開発グループ主任・西澤修二氏によれば「デジタルハリウッド全体で1,000台以上のコンピュータが導入されている」という。グラフィックデザイン専攻の授業で用いられているのは、Power Mac G5以降のMac、そしてMac OS Xの組み合わせ。そしてMORISAWA PASSPORTのライセンスは200以上を有し、OpenTypeをインストールしている。MORISAWA PASSPORT導入以前は、当然ながらパッケージでPostScriptフォントを購入していた。しかし、Mac200台以上のフォントをパッケージで所有し、会社の資産として管理する労力はかなりのもの。それが、MORISAWA PASSPORTの導入で大幅に楽になり「資産管理を行う部署の担当者からも好評」と西澤氏は話す。

実制作の現場と同じ環境で教える

東京本校でキャリアカウンセラーを務める竹本竜也氏は、数多くの和文書体が存在する中でモリサワを使用することの意義を「社会に出ても使用頻度が高いから」と説明する。デジタルハリウッドでは「業界と同じ環境を揃えたい」（西澤氏）という意図がある。産学協同で、現にクリエイティブ産業が求めている、これから必要とする人材を育成するデジタルハリ



デジタルハリウッド株式会社
企画開発グループ主任
西澤 修二 氏



デジタルハリウッド東京本校
キャリアカウンセラー
竹本 竜也 氏



デジタルハリウッド東京本校
講師 渡辺 竜太 氏

ウッドにとって、それは当然のことと言えるかもしれない。

グラフィックデザイン専攻の授業の中で、エディトリアルデザインの際に使われる環境も、現代的なクリエイティブの現場そのものだ。「以前は、Power Mac G5の中でClassic環境を使用し、(OS 9版の)QuarkXPressを使用してエディトリアルの制作を行っていました。2006年7月からはOS Xネイティブの環境で、InDesign CS2を使用しています」と竹本氏。そこで使用されるフォントは、もちろんOpenTypeだ。

グラフィックデザイン専攻で教える講師陣のひとりである渡辺竜太氏は、自らデザイナーであるからこそ、MORISAWA PASSPORTの登場には驚いたという。

「MORISAWA PASSPORTが出たときの衝撃は大きかったですね。自分だけでなく、周りのデザイナーも皆驚いていました。そして実際に導入してみると、モリサワがこんなにたくさんの書体を出していたのかと、改めて思いました。」

また、デジタルハリウッドではMORISAWA PASSPORT導入と時を同じくして、NewCIDからOpenTypeへの移行もして





東京本校の Mac ルームと、お話を伺った受講生たち。課題制作などのために常時開放されている。



グラフィックデザイン専攻の受講生たちが数名のチームを組んで作製した小冊子たち。内容はクリエイターへのインタビューが中心で、企画から取材・執筆、デザインまですべて自分たちで行う。

いるが、フォントの構造がシンプルになったことで「フォントの説明がしやすくなった」という感想も抱いているという。

たくさんの課題をこなすなかで書体の使い方を習得

たくさんの書体があることはクリエイティブの幅を広げるが、少なくともデザインを学ぶ過程では「まずは基本がわかっていることが大事」と渡辺氏。

「授業の中では当然書体の選び方についても触れていますし、例えば InDesign 上での和文と欧文の混植、かな書体の使い方なども教えています。しかし書体選びやこだわりはその人次第なので、こんなときにはこの書体……というように教えることはできません。話を聞いてある程度わかったとしても、やはり実際に組んでみないことには本当のことはわからないんです。だから最初は、基本のところがかきんとわかっていれば良い。最初からあまりたくさんの書体があっても選ぶのに時間がかかってしまうだけです。実際、自由に書体を選ばせると、デザインフォントばかり選ぶ人が多い。」

そこで重要になるのが、講義や課題として行う制作作業。グラフィックデザイン専攻では、3～4人でチームを組んで、

クリエイターへのインタビューを掲載した小冊子を制作するという授業も行われている。課題の数も多いので、24時間開放の Mac の教室は、授業が終わった後も多くの受講生が制作に打ち込んでいる。自宅に Mac のない受講生も少なからずいて、そんな人たちはおのずと Mac 教室を頼りにすることになる。しかし、実際に受講生に話を伺うと「自宅には Mac があるが、入っているフォントが少ないので、もっと数は欲しい」という声も聞かれた。

講師の渡辺氏は次のように話す。「以前から、学生向けの MORISAWA PASSPORT のようなものがあれば……とは思っていました。彼らにとって、どうしてもフォントの価格の高さには抵抗があるんです。」

そういった意味で、「Student Pack」に対する期待は大きい。「課題のボリュームが大きいので、とても授業の時間では追いつきません。だから Mac の教室だけでなく、自宅に持ち帰って作業する人も多いんです」と渡辺氏。そんな「自宅でも作業したい」という受講生のために、デジタルハリウッドでは、受講生向けに「Student Pack」の販売も行っていく予定だという。

名称
デジタルハリウッド株式会社

所在地
東京都千代田区神田駿河台 2-3

事業内容
スクール事業、大学・大学院事業、人材紹介事業

<http://www.dhw.co.jp/>

●使用書体・見出し・本文・新ゴ



MORISAWA PASSPORT

www.morisawa.co.jp/font/passport/

問合せ先
株式会社モリサワ パスポートセンター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25
Tel.06-6647-2253
フリーダイヤル 0120-08-2253
電話受付時間
月曜日～金曜日 9:00～12:00、12:45～17:15
(祝祭日・弊社規定休業日を除く)



MORISAWA FONT Student Pack 2/4 Years Student Pack BASIC

www.morisawa.co.jp/std



社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会 モリサワ製品の不正コピーなど、違法行為にお気づきの方は(社)コンピュータソフトウェア著作権協会(Tel.03-5976-5178)までご連絡ください。

※本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※本カタログに記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリサワ

株式会社モリサワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel.03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel.022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸ノ内1-5-10 Tel.052-201-2341
札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel.011-700-0112
広島営業所 〒730-0805 広島市中区十日市町1-6-27 広島印刷会館1F Tel.082-296-1114
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel.092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0045 鹿児島市武1-11-7 秋丸ビル Tel.099-252-2255
岡山出張所 〒701-1214 岡山市幸川市場386 Tel.086-284-9766